

9-3 皮膚白癬症（ひふはくせんしょう）

カビ（＝真菌）の一種である白癬菌によって発症する皮膚疾患で、発症する部位によって呼び名が違う。頭部では「シラクモ」、体部では「ゼニタムシ」、股部では「インキンタムシ」、足・手・爪では「ミズムシ」と呼ばれている。

趾間（足の指の間）に生じる白癬症（水虫）が一番多い。

主な症状	<p><u>趾間（足の指の間）に生じる白癬症（水虫）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 足の指の間にかゆみを訴え、皮膚は湿潤し、浸出液を伴うこともある。 放置すると他の趾間に広がり、爪に移ると爪が肥厚し変形する。 他の皮膚にも広がることもある。
------	---

生活上の留意	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚の清潔と乾燥を保つだけでなく、皮膚同士が接触しないよう、指間など、皮膚と皮膚が接する所に布を挟む。 爪白癬の人の爪を切った爪切りや、スリッパ・足拭きマット等を共用しない。 寒くなってくると治癒してくるが、暖かくなると再発するため、治療を中断しないことが大切。
--------	---

ケアマネジメントのポイント	<p>＜支援者の留意点・視点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染者との皮膚接触を避ける。 陰部におむつを重ねすぎない。 陰部洗浄は皮膚のバリアを剥ぎ取らないように石鹼で洗いすぎないようにする。 白癬菌は高温多湿を好むため、入浴・足浴・清拭等で環境を整える。
---------------	---

代表的な薬	<ul style="list-style-type: none"> 抗真菌薬（クレナフィン、イトリゾール、ラミシール、アトラント、メンタックスなど）
-------	--